

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成26年度)

施設名	加古川市斎場
指定管理者	株式会社五輪
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	市民部市民課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
人体受付件数（件）	2,377	2,360	高齢化社会のため、増加したと思われます。
小動物受付件数（件）	1,895	1,884	愛犬家が多いため、増加したと思われます。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	88,060,077	86,401,501	－
（うち指定管理料）	88,058,510	86,399,810	消費税増税のため
（うち利用料金）	0	0	－
支出金額（円）	85,197,377	79,212,468	消費税増税のため

3 自己評価

自己評価コメント	更衣室の床面がすのこ敷きでは、足場も悪く、スペースもあまり無い状態で、お着替え、着物をたたまれるのも苦勞されたと思われます。床面一式を畳敷きに変更した事により、足場は安定し、スペースを広げることもできました。また、斎場には赤ちゃんルームがなく、授乳、おむつ替えには、給茶室などをお貸しし行っていましたが、畳敷きにした事により、赤ちゃんルームとして使用でき、二つのニーズに対応できたことが良かったと思います。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	利用者からの要望に応え、更衣室の改修を行い、高齢者から乳幼児まで利用しやすい環境に整えた。 高齢者など和室での正座が難しい人が増えているため、座敷用の椅子を購入し利用者が快適に過ごせるようにした。
利用状況に対する評価	火葬件数（人体）が平成25年度 2,360件、平成26年度 2,377件で、17件の増加となっている。 火葬件数の増加に適切に対応している。

自主（指定）事業 に対する評価	実施する事業なし
施設維持に対する 評価	清掃、植栽管理、設備の保守点検等の外部委託により適切に実施している。
収支状況に対する 評価	火葬灯油、空調灯油は削減に努めたが、火葬件数の増加により削減はできなかったが、電気使用量は削減ができた。
総合評価	斎場の管理運営については、利用者に対して公平、公正な業務の執行が行われており、特段大きなトラブルも無く、概ね適正に実施されている。また、効果的・効率的な管理運営で経費の節減に努めている。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成26年度)

施設名	加古川市立勤労会館
指定管理者	一般社団法人加古川労働者福祉協議会
指定期間	平成24年4月1日から平成27年3月31日まで
施設所管課	地域振興部商工労政課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	85,830	100,112	市民会館の改修工事により増加していた利用者が、同工事完了により減少したため
利用件数（件）	3,423	3,694	同上

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	19,587,698	19,816,270	—
（うち指定管理料）	16,070,000	15,776,000	消費税増税、電気料金値上げのため
（うち利用料金）	3,516,640	3,826,475	市民会館の改修工事完了による減少
支出金額（円）	19,493,229	19,698,826	光熱水費返還分含む

3 自己評価

自己評価コメント	設備点検、簡易な修繕等の維持管理を遅滞なく行った。また、経費節減に取り組み、指定管理料のうち光熱水費の一部を市に返還することができた。 貸館業務についても大きなトラブルはなく、適切に管理運営がなされたものと考えている。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	利用者の協力のもと、事故もなく運営している。また、施設の設備上の制限はあるが、可能な限りサービス向上に努めている。
利用状況に対する評価	市民会館の改修工事が終了したため、前年度よりは利用者数が減少しているが、一定の基準は維持している。 ホームページの開設や、キャンセルに関する基準を定めるなど利用しやすい環境づくりに努めている。
自主（指定）事業に対する評価	勤労者の福利厚生につながる事業を行い、勤労者の教養文化の向上、福祉の増進、会館利用者の増加に寄与している。

施設維持に対する評価	施設維持に必要な点検や簡易な修繕についても遅滞なく対応することができている。また、こまめな消灯等により光熱水費を市に返還するなど、省エネに努めている。 台風等の災害時にも問題なく対応することができている。
収支状況に対する評価	消耗品や印刷製本費等について、まとめ買いや購入量を最小限とするなど、計画的に経費削減を行うことにより、支出超過になることなく運営を行うことができている。
総合評価	事業計画どおり概ね良好に実施されている。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成26年度)

施設名	加古川市立地域産業振興センター
指定管理者	地域産業振興センター運営協議会
指定期間	平成24年4月1日から平成27年3月31日まで
施設所管課	地域振興部商工労政課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	9,885	9,078	大ホールの利用が多く、1月～3月にかけて昨年の約3倍の利用があったため

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	5,822,296	5,693,443	－
（うち指定管理料）	5,821,000	5,691,000	消費税増税、電気料金値上げのため
（うち利用料金）	0	0	－
支出金額（円）	5,822,296	5,693,443	消費税増税、電気料金値上げのため

3 自己評価

自己評価コメント	利用者に対してアンケート調査等を実施し、快適に施設の利用ができるよう対処しているとともに、ボランティアによる修繕等で経費削減にも努めるなど、地域に開かれた施設として適切に管理運営している。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	施設の管理運営業務においては、利用者アンケート等により利用者の意見を把握し、管理運営に反映するなどし、事業計画通り概ね良好に実施されている。
利用状況に対する評価	利用者数は平成25年度以降毎年増加している。地元町内会等との連携のもと、きめ細やかな施設の管理運営が図られており、地域の拠点となるよう利用促進にも努めている。
自主（指定）事業に対する評価	靴下の購入希望者があれば、直接製造・販売業者へ取り次ぐなど、地場産業の販売促進に努めている。

施設維持に対する評価	清掃業務については業務委託により適切に実施している。簡易な修繕に関する意見・要望については、緊急性のあるものから計画的に対応している。また、こまめな消灯等を徹底し、省エネへの取り組みも積極的に努めている。
収支状況に対する評価	不要な支出は認められず、適正に経理処理されている。 また、ボランティアの協力を得て修繕するほか、コピー用紙の裏面を利用するなど経費削減を徹底している。
総合評価	概ね適正に運営・管理されている。 施設の設置目的である「地域産業の振興と地域住民の生活文化の向上を図るため」に沿った管理運営が行われている。また、経費削減についても、細部にわたり努力が認められる。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成26年度)

施設名	加古川市民会館
指定管理者	株式会社ケイミックス
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	118,098	127,564	耐震化改修工事による休館のため
施設稼働率（％）	47.0	50.4	同上

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	109,548,864	96,188,418	—
（うち指定管理料）	82,446,000	76,456,100	指定管理者更新に伴う再提案のため
（うち利用料金）	18,823,252	13,013,098	耐震化改修工事による休館のため
支出金額（円）	114,890,936	85,957,505	同上

3 自己評価

自己評価コメント	リニューアルオープン記念事業では、200人の市民が舞台に上がって楽器演奏をした。市民参加型のイベントは高い評価を得たと考えている。館内清掃及び設備・備品等の管理については、期間を通して高いレベルで保たれた。館内の美化及び環境の保全を現場担当と事務局が連携して行った。施設利用の受付場所を窓口から室内にしたことで利用者から好評価を得たが、受付に時間がかかるとの意見もあった。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	施設の運営や維持管理については、提案書、仕様書、事業計画書に基づき実施された。8月までは耐震化改修工事により仮事務所での運営となったが、事前広報等により混乱もなく運営管理が図られた。
利用状況に対する評価	平成25年9月から平成26年8月まで耐震化改修工事による休館となっていたため、年度比較は難しいが、運営期間中については、大（中）ホールの稼働率は目標値を上回り、貸館全体としてもほぼ計画通りの稼働率となっている。
自主（指定）事業に対する評価	指定事業、自主事業とも計画通り全ての事業を実施した。今年度は目標値設定が高かったため参加者数は計画を達成できなかったが、個性のある新規事業にも取り組んでおり、今後の事業展開に期待したい。

施設維持に対する評価	定期的な館内清掃・植栽・警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費・備品購入費ともに当初予算を若干超過したが、指定管理業務の収支の範囲内で必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。また、施設の経年劣化に伴う修繕については緊急性を要するものから修繕計画に基づき対応している。
収支状況に対する評価	指定管理者が交代した初年度で、指定事業収入が不振となったことが影響し、収支全体としては支出超過という結果となったが、ほぼ計画通りに予算を執行している。
総合評価	自主事業において加古川の郷土史に関する講座を開催するなど、利用者の郷土愛の醸成に寄与している。また、指定管理者の強みを生かした文化講演会等を実施し、施設利用の促進を図っている。次年度からは年間を通じた施設利用が可能となるため、更なる事業展開に期待したい。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成26年度)

施設名	加古川総合文化センター
指定管理者	小学館集英社プロダクション共同体
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
コミュニティ施設 利用者数（人）	93,103	96,354	音楽練習室、創作教室の利用が伸びなかったため。
コミュニティ施設 稼働率（％）	36.0	38.7	サークル室の夜間区分利用枠を増やしたため。
美術ギャラリー 利用者数（人）	34,211	45,191	夏季展が前年のサンリオ展と比べて低調になった。また、集客力のある貸館展示が今年度は開催されなかったため。
美術ギャラリー 稼働率（％）	66.6	62.2	—
博物館 利用者数（人）	3,839	4,575	展示品が固定しているため無料開放の事業などを実施したが利用者が伸びにくい。
宇宙科学館 利用者数（人）	4,121	3,956	夏・冬のサイエンスショーやロケットの模型展示などを行い、利用者数が確保できた。
プラネタリウム館 利用者数（人）	11,885	15,875	投映番組の人气が前年をかなり下回った。学校園の団体投映は増加傾向にある。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	137,154,824	131,365,069	—
（うち指定管理料）	98,474,000	96,542,000	指定管理者更新に伴う再提案額のため
（うち利用料金）	31,279,309	34,453,556	保健センター移転に伴う駐車場利用料金の減少
支出金額（円）	137,681,490	129,720,778	指定事業実施による

3 自己評価

自己評価コメント	(事業総評) 幅広い年齢層の利用者が楽しめるよう、自主事業を拡大し、広報にも力を入れたが、創作教室においては参加者数が横ばいとなった。また、文化交流事業として、箸作り、ピザ作りなど、新しい事業を実施し好評であった。 今後も創意工夫をこらして、施設の設置目的を最大限に発揮できるよう、楽しく、ためになる事業を展開していきたい。 (コミュニティ施設) 利用者との接点が多い施設であるため、接遇・接客面でのスキルアップに努めてきた。アンケート等を活用して利用者の意見を汲み取り、より良い利用環境を整備する必要があると考える。 (美術ギャラリー) 貸館については高い評価が定着し、利用状況も安定している状況であるが、さらなる利用率の向上のため、新規利用者の発掘に努めたい。 (常設展) プラネタリウム館では、コンサートやアロマの導入、投映機の操作体験など、様々な層の方が興味を持てるよう新しい事業を実施した。 宇宙科学館では、展示物が固定しているため、特別展示「世界のロケット大集合」で模型やパネルを展示し集客に努めた。 博物館では、美術ギャラリーの所蔵展と時期をあわせ、「樋口尾山展」を実施し集客に努めた。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	小規模な修繕を積極的に実施している。また、自主事業では箸作り、ピザ作りなどの新規の文化交流事業や加古川の歴史にちなんだ事業を実施するほか、プラネタリウム館ではアロマを用いた番組やコンサートに活用するなど、サービスに工夫が見られる。
利用状況に対する評価	夏休み期間中に雨天が多かったこと、夏季展の内容が大人向けとなり、入場者が伸び悩んだこと、各創作教室の参加者が伸び悩んだことなどから利用者が減少した。この結果を踏まえ、次年度以降の事業展開に生かされたい。
自主（指定）事業に対する評価	自主事業については、当初計画していた全ての事業を実施することができ、参加者数も目標値を上回る結果となった。指定管理者の強みを生かした事業を企画し、情報発信に努めることで、今後も多くの参加者の確保に期待したい。
施設維持に対する評価	定期的な館内清掃・植栽・警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費・備品購入費ともに当初予算を若干超過したが、指定管理業務の収支の範囲内で必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入については、平成 26 年 8 月に閉鎖したレストランを再開しその他収入（行政財産目的外収入）が増加したが、保健センター移転に伴う駐車場利用料が減少し、また、保健センター利用客減の影響が他にも波及したため、収支全体としては支出超過となった。
総合評価	施設の管理運営や施設維持管理については、提案書、仕様書、事業計画書に基づき適正に遂行している。自主事業については、新規事業にも取り組んでいるが、毎年恒例の事業については再検討し、変化のある事業展開にすることによって、より一層の施設の活性化を期待したい。また、利用者の増加を図るため、施設の積極的な P R にも併せて期待したい。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成26年度)

施設名	加古川市立松風ギャラリー
指定管理者	加古川市美術協会
指定期間	平成26年4月1日から平成29年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	22,217	16,986	継続的に事業を展開した結果と考える。
稼働率（％）	45	34	展示室で自主事業を実施したことによる。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	18,573,547	15,969,495	－
（うち指定管理料）	16,311,000	13,745,000	指定管理者更新に伴う再提案額のため
（うち利用料金）	2,114,780	2,206,175	－
支出金額（円）	16,797,629	14,709,618	館長1名配置による増加

3 自己評価

自己評価コメント	指定期間の初年度であることから試行錯誤の連続であった。 施設の稼働率は主催事業を積極的に展開して目標値を達成した。 全体としては、事業計画をほぼ実施できた。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	地域の文化団体とのネットワークをもった指定管理者による地域に密着したサービスの提供や、積極的な新規事業の展開により、利用者が増加している。
利用状況に対する評価	展示室を空けないよう、可能な限り事業を組み入れた結果、利用者の増加につながった。次年度以降はホールの平日利用を促進し、さらなる利用者の獲得を計画しており高く評価できる。
自主（指定）事業に対する評価	自主事業として、美術協会部門別会員展（日本画、彫塑・工芸、写真、書道、洋画）を開催しており、指定管理者のノウハウとネットワークを生かした事業展開ができています。
施設維持に対する評価	定期的な館内清掃・点検を実施している。また、早期に必要な修繕を行うことにより、老朽化を最小限に抑えるなど、適切な維持管理ができています。

収支状況に対する 評価	貸館事業による利用料金収入があるが、指定管理料が主たる財源となる。計画的に館内清掃や点検を実施し、修繕や備品購入を行うことで予算の範囲内での執行ができています。
総合評価	施設の管理運営や施設維持管理については、提案書、仕様書、事業計画書に基づき適正に遂行されており、節電等の経費削減にも取り組んでいる。また、新規事業の実施や継続的な事業周知を行い利用拡大を図っている。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成26年度)

施設名	加古川ウェルネスパーク
指定管理者	STRKS（ストークス）グループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	604,800	609,145	健康増進施設の運営事業者の交代により上半期は利用者が減少したが、下半期は昨年度比で増加した。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	399,209,126	378,447,923	－
（うち指定管理料）	315,093,000	305,278,000	指定管理者更新に伴う再提案額のため
（うち利用料金）	71,131,971	72,446,620	利用者減少による
支出金額（円）	410,403,738	394,418,466	－

3 自己評価

自己評価コメント	健康増進複合施設としてのウェルネスパークの特長を生かし、利用者の満足度を高める運営に努めた。また、地元住民参画によるハーブサポーター、ウェルネスローズ倶楽部等の活動により、屋外施設の活用や美しい花壇の維持に努めており、より親しみを感ずる施設を目指したい。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	複合施設の特長を十分に生かした運営ができている。利用者の声を積極的に取り入れ、また、地元住民参画による各種活動を実施することにより高い利用者満足度を得ることができている。
利用状況に対する評価	健康増進施設については運営企業の交代に伴い、利用者数が若干減少したが、音楽ホール及び図書館の利用者数増により、目標値を上回る実績となった。
自主（指定）事業に対する評価	指定事業については、ウェルネスプログラムが好評であり、自主事業ではウェルネス祭りに多くの参加者があったことで、指定事業・自主事業ともに目標値を上回ることができた。
施設維持に対する評価	定期的な館内清掃・植栽・警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費・備品購入費ともに予算の範囲内で必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。

収支状況に対する評価	収入全体としては、貸館による利用料収入が 2 割強で、指定管理料が主な収入源となっている。計画的に館内清掃や点検を実施し、修繕や備品購入を行うことで予算の範囲内での執行ができています。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。多種多様な自主事業に取り組む一方、運営や設備に優れた、質の高い劇場や音楽ホールを顕彰する「優良ホール 100 選」にアラベスクホールが選ばれるなど、複合施設の特性を十分に発揮し、地域コミュニティの中心となっている。また、地元団体と協力した自主事業の展開をするなど、地域と協働した管理運営ができています。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成26年度)

施設名	加古川市立漕艇センター
指定管理者	STRKS（ストークス）グループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	19,637 人	18,037 人	「関西学生秋季選手権」の参加大学数の増加に伴う参加人数及び応援観戦者の増加など

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	29,532,636	30,153,484	－
（うち指定管理料）	25,613,000	26,294,000	指定管理者更新に伴う再提案額のため
（うち利用料金）	3,252,648	3,136,400	宿泊・貸艇・貸艇の増加
支出金額（円）	30,227,313	29,228,654	－

3 自己評価

自己評価コメント	平成26年度の利用人数は19,637人で前年比+1,600人となり、利用料金収入は3,252,648円で前年比+116,248円となった。 職員の接遇力の向上及び、利用者の意見に対する迅速な対応が評価され、利用者数、利用料金収入ともに増加したと考えている。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	職員がボート修理の資格を取得することで、より安全なボートの管理や、不具合への素早い対応ができています。学校や企業へ積極的に働きかけることで、新たな利用者が増加しています。
利用状況に対する評価	宿泊者数、艇庫・貸艇に係る利用料金の増加により、利用者数・利用料金収入ともに昨年度実績を上回った。
自主（指定）事業に対する評価	自主事業のうち2事業が未実施となったが、他の事業への参加者増により自主事業全体の参加者数を押し上げ、目標値を上回ることができた。
施設維持に対する評価	定期的な館内清掃・植栽・警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費・備品購入費ともに予算の範囲内で必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入全体では、貸館・貸艇による利用料収入は1割強で、指定管理料が主な収入源となっている。計画的に館内清掃や点検を実施し、修繕や備品購入を行うことで予算の範囲内での執行ができています。

総合評価	施設責任者交代に伴う自主事業の一部未実施を嚴重注意した他は、基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、概ね良好に遂行することができた。自主事業によるボート大会の実施や、各種ボート大会への積極的な協力などを通じ、ボート競技の普及に寄与している。また、ボート以外のスポーツ団体による合宿の誘致などを行い、施設の知名度の向上を図ることができている。
------	--

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成26年度)

施設名	平荘湖アクア交流館
指定管理者	STRKS（ストークス）グループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	66,575	65,725	来館者に対し「あいさつ＋もう一声」を積極的に行ったことにより増加したと考えている。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	105,179,020	98,506,264	－
（うち指定管理料）	61,099,000	55,468,000	指定管理者更新に伴う再提案額のため
（うち利用料金）	18,570,390	16,611,410	プール定期利用者及び部活等の専用利用者が増えたため
支出金額（円）	119,754,732	97,286,041	人件費の増加

3 自己評価

自己評価コメント	25m公認プールを生かし、様々な水泳教室を実施したことにより、児童の泳力向上を図るとともに、部活動利用を通じて、中学・高校生の競技力向上を図ることができたと考えている。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	様々な水泳教室の実施や、水泳大会の誘致など利用者のニーズに合わせた事業運営ができています。また、子供向け体育教室などを実施し、児童の競技能力向上に寄与しています。
利用状況に対する評価	プール利用者数は、特に定期利用回数と子供水泳教室の参加増により、利用者数・利用料金収入ともに昨年度実績を上回った。
自主（指定）事業に対する評価	指定事業は水泳教室事業が好評で、文化教室事業の目標値未達を補った。自主事業においても各種水泳教室への参加者が増加したことにより、指定・自主事業ともに参加者数の目標値を上回ることができた。
施設維持に対する評価	定期的な館内清掃・植栽・警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費・備品購入費ともに予算の範囲内で必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	指定管理料が収入全体の6割を占める。計画的に館内清掃や点検を実施し、修繕や備品購入を行うことで予算の範囲内での執行ができています。

総合評価	広報かこがわの誤掲載の指導をした以外は、基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。指定事業及び自主事業ともに目標値を上回る実績をあげることができた。
------	--

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成26年度)

施設名	加古川海洋文化センター
指定管理者	TRSS（トレス）グループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
来館者数（人）	228,687	229,028	夏季の天候不順や台風接近による臨時休館のため
研修室利用件数（件）	386	317	自主事業等の実施のため
図書貸出冊数（冊）	223,948	231,480	夏季の天候不順や台風接近による臨時休館のため

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	84,954,987	83,285,600	－
（うち指定管理料）	77,794,000	76,611,000	指定管理者更新に伴う再提案額のため
（うち利用料金）	676,120	710,600	－
支出金額（円）	80,094,016	75,037,103	図書購入費の増加

3 自己評価

自己評価コメント	海洋文化センターでは利用者が海と触れ合い、より親しんでもらえる事業の実施や施設維持に一丸となって取り組んだ。海に関わる文化、季節感ある催し物、日本の文化の体得など、幼児とその保護者をはじめとした多くの利用者に親しんでもらえたと考えている。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	各種広報活動や魅力ある自主事業の実施により、夏季のじゃぶじゃぶ池だけでなく、1年を通してコミュニティの場として親子連れを中心に利用されている。
利用状況に対する評価	夏季の悪天候による利用者の減少を他の季節の利用者の増加が補う形となり、結果としては昨年度とほぼ同数の利用者を確保することができた。
自主（指定）事業に対する評価	指定事業はシーカヤック入門等、海にちなんだ各種教室が目標値を上回る結果となった。一方、自主事業については、和風制作・凧揚げ教室が好評であり、目標値を上回る参加者数があった。また、作成した和風を事業終了後に自由貸し出しとすることにより、親子連れの来館者が増加し、施設の活性化につながる結果となった。

施設維持に対する評価	定期的な館内清掃・植栽・警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費・備品購入費ともに、予算の範囲内で必要分を適宜執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入全体としては、利用料金収入等の占める割合が低く、指定管理料が収入の 9 割を占めている。計画的に館内清掃や点検を実施し、修繕や備品購入を行うことで予算の範囲内での執行ができています。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。特に子供連れの利用者が多く、海洋文化に関する知識の普及だけでなく、子育て支援の拠点としての役割も果たしている。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成26年度)

施設名	加古川スポーツ交流館
指定管理者	TRSS（トレス）グループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用人員（人）	126,398	130,735	利用人員について前年度比約4千人の減となった理由はフルタイム定期券購入者、法人券利用者の夜間、土日利用が減少したことによるもの。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	125,411,224	112,806,615	－
（うち指定管理料）	71,300,000	66,048,000	指定管理者更新に伴う再提案額のため
（うち利用料金）	47,782,500	46,758,615	－
支出金額（円）	130,863,976	127,275,843	－

3 自己評価

自己評価コメント	4月からの事業者交替に伴い、健康増進プログラムの一部変更に関し、当初は見直しを要望する声もあったが、運営に対する信頼感を得たことにより、利用者は増加傾向になっている。今後とも、変化する利用者のニーズや動向を日々の運営の中で把握しつつ、定期的なプログラムの見直しや新たな提案を行い、より利用者に親しまれる運営を行っていききたい。一方、安全・衛生的で安定的に稼働する施設倫理を心がけ、専門者を配置して日々の点検、清掃、必要なメンテナンス等を細心の注意のもとに実施する。これらを積み重ねることにより、利用者が安心して利用できる施設運営を目指していききたい。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	利用者の要望に積極的に対応しており、利用実績は増加傾向にある。また、施設の維持管理については、経年劣化による故障等に対して、迅速で適切な対応をし、安全で快適な施設運営ができています。
利用状況に対する評価	健康増進施設で貸館事業がないため、稼働率は目標を設定できないが、施設利用者、利用料金収入については、ともに目標値を達成した。
自主（指定）事業に対する評価	指定事業として、水泳教室等のプール事業及び、ダンス・ヨガ教室等のスタジオ事業を実施。また、自主事業としては体力測定等を実施した。指定事業、自主事業合わせた参加者数は、ほぼ前年度実績同様の人数となった。

施設維持に対する評価	定期的な館内清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費については、予算を若干超過したが、指定管理業務の収支の範囲内で必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入全体としては、利用料金収入等の占める割合が低く、指定管理料が収入の 6 割弱を占めている。計画的に清掃や点検を実施するとともに、必要な修繕や備品購入を行った。修繕費については突発的なものが重なり支出超過となったが、ほぼ予算の範囲内での執行ができている。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。定期券による利用が増加し、多くの利用者を安定して見込めるようになった。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成26年度)

施設名	浜の宮市民プール
指定管理者	TRSS（トレス）グループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	41,492	50,796	天候不順のため

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	27,162,450	25,119,497	－
（うち指定管理料）	6,647,000	0	指定管理者更新に伴う再提案額のため
（うち利用料金）	20,101,435	23,067,460	天候不順のため
支出金額（円）	43,324,552	33,636,422	人件費・修繕費の増加

3 自己評価

自己評価コメント	天候不順により利用者及び利用料金収入が減少したが、プールの運営については事故もなく、適切な人員体制で運営することができた。 また、健康・安全の観点から、一定時間ごとにプール内から退出させ、プール内の安全を確認した。今年度、人身や設備等の事故がなかったことは、監視員の定期的巡回、定点監視等の徹底によるものであり、次年度の運営にも生かせると考えている。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	民間企業のノウハウを生かした専門的な知識と技術で、利用者の安全性を確保するとともに、サービスの向上、利用促進ができています。
利用状況に対する評価	休日など利用のピークとなる日に悪天候が重なったこと、明石海浜プールがリニューアルオープンしたことなど、対応が難しい事象の影響から利用者が減少した。
自主（指定）事業に対する評価	自主事業のミニミニライフガードは、目標値を上回る参加者数を確保できた。

施設維持に対する評価	夜間巡回警備が年間計画書どおり実施できなかったことを指導したが、その他の施設管理については、定期的な場内清掃・植栽・警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費・備品購入費ともに、予算の範囲内で必要分を適宜執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入に占める指定管理料の比率は少なく、利用料金収入が収入全体の80%を占める施設である。今年度は、悪天候、近隣施設のリニューアルオープン等の影響を受け、当初予定していた収入を確保できなかったため、歳出超過という結果となった。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。天候不順により利用者数は減少したが、事故もなく、多くの利用者に安全・安心なプール施設の提供ができた。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成26年度)

施設名	加古川市ウォーキングセンター
指定管理者	農事組合法人みとろ生産組合
指定期間	平成24年4月1日から平成27年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用人数（人）	3,640	4,296	研修室の一部利用制限のため

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	3,919,160	3,810,000	－
（うち指定管理料）	3,919,000	3,810,000	指定管理者更新に伴う再提案額のため
（うち利用料金）	0	0	－
支出金額（円）	3,971,704	3,810,000	－

3 自己評価

自己評価コメント	利用者数は、今年度は、研修室の利用者の一部を制限したため、研修室の利用者数、全体の利用者数は減少したが、研修室以外の項目の合計数は増加した。利用者からは高い評価を受けているものと認識している。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	同エリアに拠点を置く指定管理者としての強みを生かし、管理運営することにより、地域密着型施設として利用者からは高い評価を受け、リピーターが多くなっている。
利用状況に対する評価	研修室の利用者数について、研修室の利用者の活動内容等を確認した上で、当施設の趣旨に合っているかを判断し、営利団体の利用を制限することとしたことにより減少したが、その他の利用についてはリピーターも多く安定している。
自主（指定）事業に対する評価	ギフチョウの館内展示及び生物展示を実施した。また、窓口で季節に合わせた自然観察等の情報提供を行っている。当指定管理者が管理運営するみとろフルーツパーク等との共同事業としてスタンプラリーを実施し、新たな利用者の獲得を目指している。

施設維持に対する評価	日常点検、トイレ・洗体室・鏡・床の清掃を毎日2回実施したほか、床洗浄・ワックス・ドアガラスの清掃を週1回実施した。また、屋外の植木・芝生の手入れも行い、施設を適切に維持管理できている。
収支状況に対する評価	貸館事業がないため指定管理料が主たる財源となる。計画的に清掃や点検を実施するとともに、必要な修繕や備品購入を行い、予算の範囲内で執行することができている。
総合評価	ウォーキングの拠点として広まりつつあり、ウォーキングの施設利用者から評価を得ている。また、研修等での定期的な利用もあり、地元を中心にコミュニティ施設として定着している。今後もみとろフルーツパーク等の近隣施設と連携しながら、積極的な広報活動や魅力ある事業の実施に期待したい。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成26年度)

施設名	加古川市立日岡山体育館
指定管理者	ミズノグループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	126,837	129,863	昨年度に開催された大きな大会が今年度は開催されなかったため
稼働率（%） ※アリーナのみ	82	前指定管理者設定なし	—

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	79,764,570	84,707,976	—
（うち指定管理料）	59,542,000	65,255,000	指定管理者更新に伴う再提案額のため
（うち利用料金）	17,812,936	17,657,066	—
支出金額（円）	63,734,814	76,674,840	人件費の減少

3 自己評価

自己評価コメント	指定管理の初年度で、日岡山公園内6施設の受付業務も一括管理により行ったが、安全にも配慮して運営できた。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	日岡山公園内の7施設を一括管理することで、効率的な運営を行うことができている。利用者のニーズに応じて安全で快適な施設運営ができている。
利用状況に対する評価	昨年度に開催された大きな大会が今年度は開催されなかったが、新しいスポーツ大会を開催することができたため、利用料金収入は昨年度の実績を上回った。
自主（指定）事業に対する評価	自主事業のうち、年を通じて実施された「バドミントン教室」に多くの参加者があったことで、自主事業全体の参加者数を押し上げ、目標値を上回ることができた。
施設維持に対する評価	定期的な館内清掃・植栽・警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費・備品購入費ともに予算の範囲内で必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。

収支状況に対する評価	収入全体としては、貸館による利用料金収入が 2 割強で、指定管理料が主な収入源となっている。計画的に清掃や点検を実施するとともに、必要な修繕や備品購入を行い、予算の範囲内で執行することができている。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき、管理運営等を良好に遂行することができた。また、市北部におけるスポーツの拠点として定着しており、市民の健康づくりに寄与している。自主事業についても利用者のニーズを把握し多くの参加者を集めている。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成26年度)

施設名	加古川市立武道館
指定管理者	ミズノグループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	40,041	45,808	体育協会の利用が中心となっており、一部競技団体の大幅な利用の減少が主な要因となった
稼働率（％） ※道場のみ	59	65	冬場の寒さのため第4四半期の利用が少なかった(47%)ため

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	11,469,624	12,206,382	－
（うち指定管理料）	8,177,000	8,697,236	指定管理者更新に伴う再提案額のため
（うち利用料金）	2,768,120	2,900,190	部競技団体の利用減による
支出金額（円）	11,510,243	9,410,576	修繕費の増加

3 自己評価

自己評価コメント	第2期目の指定管理期間の初年度であったが、前指定管理期間の良いところは継続しつつ、受付業務を体育館で一括集中管理することにより、点検等施設管理の充実が図れたと考える。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	日岡山公園内の7施設を一括管理することで、効率的な運営を行うことができている。利用者のニーズに応じて安全で快適な施設運営ができている。
利用状況に対する評価	柔道・少林寺拳法での利用が減少する中、剣道・空手道・合気道での利用は増加した。
自主（指定）事業に対する評価	自主事業の「初めてのけんどう教室」が好評であり、自主事業全体として当初の参加者数の目標値を上回ることができた。

施設維持に対する評価	定期的な館内清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費・備品購入費ともに予算の範囲内で必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入全体としては、貸館による利用料金収入、その他が 3 割弱で、指定管理料が主な収入源となっている。計画的に清掃や点検を実施するとともに、必要な修繕や備品購入を行い、予算の範囲内で執行することができている。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。冷暖房設備がないことから、夏期及び冬期の利用者が日岡山体育館に流れる傾向がある。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成26年度)

施設名	日岡山公園グラウンド
指定管理者	ミズノグループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	59,527	61,087	神野小学校のマラソン待機所としての利用(約1,000人)が、雨天による中止でなくなったため
稼働率（%）	87	83	各関連団体の利用件数などが昨年より増加

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	6,441,100	5,234,273	－
（うち指定管理料）	2,777,000	2,167,573	指定管理者更新に伴う再提案額のため
（うち利用料金）	3,664,100	2,959,700	利用料金の改定、稼働率の増加
支出金額（円）	6,278,454	2,738,084	人件費・修繕費の増加

3 自己評価

自己評価コメント	施設利用方法を一部変更したが、できる限り丁寧に対応したため利用も減ることなく稼働率も上昇させることができた。附属設備の利用料金も徴収することになり収入の増加につながった。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	日岡山公園内の7施設を一括管理することで、効率的な運営を行うことができている。また、企業の特色を生かしたサッカースクールは多くの参加者を集め、児童の競技能力の向上に寄与している。
利用状況に対する評価	利用者数は減少したが、利用件数が増加したため、利用料金は昨年度実績を上回った。
自主（指定）事業に対する評価	自主事業のサッカースクール及びグラウンドゴルフ大会ともに利用者に好評であり、目標値を大幅に上回ることができた。

施設維持に対する評価	定期的な清掃・植栽に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費、備品購入費ともに当初予算の範囲内で必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	利用料金収入が全体の約 6 割弱となる。今年度は利用料金収入額が増加したため収入超過となった。計画的に清掃や点検を実施するとともに、必要な修繕や備品購入を行い、予算の範囲内で執行することができている。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。また、競技団体と連携をとり、高い稼働率を維持することができている。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成26年度)

施設名	日岡山公園第1テニスコート
指定管理者	ミズノグループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	16,710	13,475	平成25年度に人工芝張替工事があったため
稼働率（％）	48	43	自主事業を実施したため

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	6,617,830	5,443,026	－
（うち指定管理料）	0	0	－
（うち利用料金）	6,332,990	5,142,000	利用者の増加
支出金額（円）	5,078,165	3,164,337	人件費・修繕費の増加

3 自己評価

自己評価コメント	平均的に昨年度より高い稼働率を維持することができた。 整備・点検を強化したが、不足している部分については、利用者に満足してもらえるよう来年度更に努めていきたい。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	日岡山公園内の7施設を一括管理することで、効率的な運営を行うことができている。利用者のニーズに応じて安全で快適な施設運営ができている。
利用状況に対する評価	昨年度の第1四半期に人工芝張替工事があり、利用者が減少したが、今年度は通常運営のため利用者数が増加している。また、第2テニスコートで実施予定のテニススクールが冬場の凍結により、第1テニスコートで実施されたため、利用者増加の要因となっている。
自主（指定）事業に対する評価	自主事業のテニススクールについては、子供から大人までをクラス別に分けて教室運営したことにより、目標値を大幅に上回ることができた。
施設維持に対する評価	定期的な清掃・植栽・警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費、備品購入費ともに当初予算の範囲内で必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。

収支状況に対する評価	指定管理料がなく、利用料金収入がほぼ収入全体となる。今年度は利用状況欄記載の理由により、利用者が増加し収入額が増加した。計画的に清掃や点検を実施するとともに、必要な修繕や備品購入を行い、予算の範囲内で執行することができている。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。利用率は人工芝の全面張り替え後、上昇傾向にある。日本人プロテニスプレイヤーの活躍によりテニスの人気上昇しているので、ジュニアの育成事業の実施などに期待したい。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成26年度)

施設名	日岡山公園第2テニスコート
指定管理者	ミズノグループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	6,181	8,171	前年度は第1テニスコートの工事に伴い利用者が増えたため。また、冬場の自主事業を第1テニスコートで実施したため
稼働率（%）	26	30	同上

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	1,774,634	1,725,777	－
（うち指定管理料）	670,000	0	指定管理者更新に伴う再提案額のため
（うち利用料金）	1,018,695	1,618,455	前年度は第1テニスコートの工事に伴い利用者が増えたため
支出金額（円）	2,867,402	4,186,312	人件費の減少

3 自己評価

自己評価コメント	第1テニスコートに比べ、コート整備により多くの労力が必要となる施設である。スタッフは常駐しておらず、できる限りの体制で整備を実施したが、冬場のコート凍結には対処できなかった。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	日岡山公園内の7施設を一括管理することで、効率的な運営を行うことができている。利用料金を引き下げることによって、より多くの利用者が気軽に利用できる環境を整えるとともに、指定管理者の特性を生かしたテニススクールを実施し、多くのスクール生を集めることができている。
利用状況に対する評価	日岡山公園第1テニスコートが昨年度は工事中であったため、第2テニスコートの利用が一時的に増加した。今年度はその反動を受け、前年度比では利用者が減少した。また、冬季には凍結により使用不能となったため、テニススクールを第1テニスコートで実施したことも利用者減少の要因となっている。

自主（指定）事業 に対する評価	自主事業のテニスクールについては、子供から大人までをクラス別に分けて教室運営したことにより、目標値を大幅に上回ることができた。
施設維持に対する 評価	定期的な清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費、備品購入費ともに当初予算の範囲内で必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する 評価	収入のうち利用料金収入が全体の 6 割弱を占めるが、今年度は利用状況に対する評価欄記載の理由により、利用者減となり収入額が減少した。計画的に清掃や点検を実施するとともに、必要な修繕や備品購入を行い、予算の範囲内で執行することができている。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。アンツーカコートは、競技団体のほか学校の部活動でも好んで利用されているので、今後もその特性を生かした取り組みに期待したい。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成26年度)

施設名	日岡山公園野球場
指定管理者	ミズノグループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	17,072	19,901	種目協会による利用と学校による利用が減少したため。また、1件当たりの利用人数が少なかったため。
稼働率（%）	49	56	種目協会による利用と学校による利用が減少したため。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	19,655,707	20,413,686	－
（うち指定管理料）	16,365,000	16,465,325	指定管理者更新に伴う再提案額のため
（うち利用料金）	2,849,920	3,482,690	種目協会による利用と学校による利用が減少したため
支出金額（円）	20,359,523	16,931,184	人件費の増加

3 自己評価

自己評価コメント	関連団体と連携し、要望を受け入れ柔軟に対応できた。大規模な修繕はできないが、スタッフによるこまめな補修を実施している。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	日岡山公園内の7施設を一括管理することで、効率的な運営を行うことができている。専門的な知識と技術を生かし、グラウンドを良好な状態に保つことができている。
利用状況に対する評価	種目協会の第1四半期の利用及び学校園の第3四半期の利用がともに減少したことにより、利用者数、利用料金とも昨年度実績を下回った。
自主（指定）事業に対する評価	自主事業としては、投げる、飛ぶ、走る等運動に必要な能力を向上させるプログラム「ヘキサスロン」を実施した。年度末の1日開催となったため目標値を下回る結果となったが、初めての試みとして実施しており、次年度からは更に規模を拡大して、参加者が増えるよう期待したい。

施設維持に対する評価	清掃・植栽に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費、備品購入費ともに当初予算の範囲内で必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入のうち利用料金収入は全体の約 15%であるが、今年度は利用者減となり収入額が減少した。計画的に清掃や点検を実施するとともに、必要な修繕や備品購入を行い、予算の範囲内で執行することができている。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。また、競技団体と連携をとるなど工夫をすることにより、稼働率を保つことができている。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成26年度)

施設名	日岡山市民プール
指定管理者	ミズノグループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	25,985	36,759	天候不順のため

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	15,579,237	19,321,772	－
（うち指定管理料）	3,480,000	4,100,000	指定管理者更新に伴う再提案額のため
（うち利用料金）	11,122,860	14,623,020	天候不順のため
支出金額（円）	19,889,841	18,661,733	－

3 自己評価

自己評価コメント	週末の悪天候が続き収支状況は悪化し、利用者数の目標達成も難しい状況であったが、安全に配慮した運営は実現できたと考える。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	日岡山公園内の7施設を一括管理することで、効率的な運営を行うことができている。老朽化した施設ではあるが、専門的な知識と技術を持つ指定管理者のノウハウを生かし、利用者の安全性を確保するとともに、サービスの向上、施設の利用促進を図っている。
利用状況に対する評価	休日など利用のピークとなる日に悪天候が重なったこと、明石海浜プールがリニューアルオープンしたことなど、対応が難しい事象の影響から利用者が減少した。昨年度比で約30%の減少となったが、天候不順という状況下で利用者数を安定確保することは難しいと考える。
自主（指定）事業に対する評価	自主事業の「縁日」を実施した。輪投げ・ヨーヨーつりなど子供に満足してもらえるような内容であり、目標値を大幅に上回る参加者があった。好評であった事業については今後も継続して取り組まれるよう期待したい。

施設維持に対する評価	定期的な館内清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費は予算の範囲内、備品購入費は当初予算を若干超過したが、指定管理業務の収支の範囲内で必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。また、昭和 53 年に設立された施設の経年劣化に伴う修繕については緊急性を要するものから修繕計画に基づき対応している。
収支状況に対する評価	収入については利用料金収入が全体の 80%程度を占めるため、7 月の天候不順による利用者減の影響により、収支全体としては支出超過という結果となったが、適切な維持管理と事業実施により、ほぼ計画どおりに予算を執行した。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。また、市内北部のプールとして、夏場の市民の健康づくりに寄与している。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成26年度)

施設名	加古川市立志方体育館
指定管理者	特定非営利活動法人加古川総合スポーツクラブ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用人数（人）	24,209	24,205	より多くの方に気持ち良く利用していただけるよう、職員一丸となって取り組んだ結果と考える。
利用料金（円）	3,266,457	3,184,445	

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	9,568,609	9,262,236	－
（うち指定管理料）	6,020,000	5,766,000	指定管理者更新に伴う再提案額のため
（うち利用料金）	3,266,457	3,184,445	－
支出金額（円）	8,474,159	8,292,762	－

3 自己評価

自己評価コメント	体育館の利用件数は、わずかではあるが1.2%増加した。来年度はさらに努力していく。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	志方東公園テニスコートとの一括管理で経費削減に努めている。また、アンケート等に基づき、利用者のニーズに応えた運営を心がけており、指定管理者の特性を生かして、スポーツの普及に寄与している。
利用状況に対する評価	昨年度の利用者数、稼働率の実績を上回る結果となった。今後も利用者のニーズを把握した事業展開を行い、利用者数、稼働率ともに増加させる工夫をして、施設の有効活用に努められることを期待したい。
自主（指定）事業に対する評価	自主事業であるシェイプアップ教室が好評であり、参加者数も目標値を上回る結果につながっている。利用者から高評価を得た事業であるので、今後も当事業を継続されたい。
施設維持に対する評価	定期的な館内清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費については、予算を若干超過したが、指定管理業務の収支の範囲内で必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。また、簡単な修繕については指定管理者自身で早期対応しており、維持管理を通して市民サービスの向上が図られている。

収支状況に対する評価	収入全体としては、貸館による利用料金収入が 3 割強で、指定管理料が主な収入源となっている。計画的に清掃や点検を実施するとともに、必要な修繕や備品購入を行い、予算の範囲内で執行することができている。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき、管理運営等について良好に遂行することができた。地元に密着した施設運営ができており、市北部のスポーツの場として親しまれている。なかでも自主事業のシェイプアップ教室が好評である。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成26年度)

施設名	志方東公園テニスコート
指定管理者	特定非営利活動法人加古川総合スポーツクラブ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用人数（人）	6,168	6,267	より多くの方に気持ち良く利用していただけるよう、職員一丸となって取り組んだ結果と考える。
稼働率（％）	28.0	24.5	

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	6,189,167	5,949,028	－
（うち指定管理料）	3,341,000	3,115,000	指定管理者更新に伴う再提案額のため
（うち利用料金）	2,682,755	2,637,530	－
支出金額（円）	6,001,859	4,735,223	修繕費・備品購入費の増による

3 自己評価

自己評価コメント	利用者に気持ち良く利用していただけるよう努力した。
----------	---------------------------

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	志方体育館との一括管理により経費削減ができている。また、親しみやすい施設として多くのリピーターに親しまれている。指定管理者の特性を生かして、スポーツの普及に寄与している。
利用状況に対する評価	テニス教室の事業数を増加させることにより、昨年度の利用実績を上回る結果となった。今後も利用者のニーズを把握して事業展開を行い、利用者数、稼働率ともに増加させる工夫をして、施設の有効活用に努められることを期待したい。
自主（指定）事業に対する評価	自主事業であるテニス教室が好評であり、参加者数も目標値を上回る結果につながっている。利用者から高評価を得た事業であるので、今後も当事業を継続されたい。
施設維持に対する評価	定期的な清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費、備品購入費ともに当初予算を若干超過したが、指定管理業務の収支の範囲内で必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。

収支状況に対する 評価	収入全体としては、貸施設による利用料金収入が 4 割、指定管理料が 6 割となっている。計画的に清掃や点検を実施するとともに、必要な修繕や備品購入を行い、予算の範囲内で執行することができている。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。自主事業のテニス教室は、より利用者に親しみやすい事業を目指して取り組んだ結果、利用者が増加した。今後も施設の認知度向上や利用者のニーズに沿った事業展開を期待したい。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成26年度)

施設名	加古川市立総合体育館及び加古川運動公園陸上競技場
指定管理者	株式会社加古川運動公園市民スポーツサービス
指定期間	平成17年12月2日から平成37年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
総合体育館 来館者数(人)	321,395	321,062	—
総合体育館 施設使用者数(人)	128,332	125,744	大会・イベントの開催件数が昨年度より6件増えたため。
運動公園陸上競技場 施設使用者数(人)	142,319	126,340	『第1回兵庫県中学校陸上競技記録会』が開催されたため。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額(円)	442,010,659	437,685,831	—
(うち割賦売上高)	222,200,713	222,024,661	—
(うち管理・運営業務料)	218,622,840	215,611,670	—
(うち利用料金)	0	0	—
支出金額(円)	412,498,948	418,398,304	—

3 自己評価

自己評価コメント	1. 運営に関する事項 ①バレーボールによる展開 ・みるスポーツ バレーボールのトップレベルであるV・プレミアリーグ試合開催 ・するスポーツ 元全日本選手によるバレーボール教室の誘致開催 V・プレミアリーグチームによるバレーボール開催 ・ささえるスポーツ 小学生を対象としたJrバレーボール大会開催による競技人口の底辺の拡大 ②世代間の交流活動 カローリング教室を開講して普及活動を行い、その成果として、各地(岡山・大阪・徳島等)からの参加者を交えて、第9回大会を開催した。今後とも総合的に総合体育館・陸上競技場の活性化を図りたいと考えている。
----------	--

	③にぎわいイベント開催 Jr バレーボール大会と同日に、フリーマーケットを開催した。小雨にもかかわらず多数の来場者があり、Jr バレーボール大会と併せ、大いに賑わった。 2. 維持管理に関する事項 清掃に関しては、いつ使用しても気持ちよく使用できる清潔な環境を維持するために、十分気を配り、「いつもきれいな施設である」と使用者に評価された。今後この評価を維持できるようにしたい。 設備については、体育館・競技場とも、水回りを中心に経年劣化による不具合が発生しつつあるので、予防保全の観点から、早期発見・早期修理を心がけていく。
--	--

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	PFI 事業の基本方針である「するスポーツ、みるスポーツ、ささえるスポーツ」の拠点となっており、様々なスポーツで重要な施設として広報することができている。また、アンケートの実施や有識者等による活性化委員会の開催により、サービスの向上に努めている。
利用状況に対する評価	総合体育館では大規模改修工事が実施される中、積極的な事業展開により利用者数は増加し、総合体育館・陸上競技場ともに昨年度を上回る実績となった。
自主（指定）事業に対する評価	PFI 事業については、市主催スポーツ教室、自主活性化事業等の各教室を実施した。NBL 男子公式戦、Vプレミアリーグ等で大いに盛り上がった。
施設維持に対する評価	定期的な館内清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費・備品購入費ともに予算の範囲内で必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入については市からの設計・建築費が 5 割、管理・運営業務料が 5 割の比率となっている。計画的に清掃や点検を実施するとともに、必要な修繕や備品購入を行い、予算の範囲内で執行することができている。
総合評価	PFI 事業要求水準書（一次、二次）に基づく提案書、事業計画書に基づいて、管理運営を確実に実施している。総合体育館においては、活性化事業として様々な教室を実施し、市民の健康づくりに大きく寄与している。また、無料開放している市民クラブルームをはじめ、近隣住民を中心にコミュニティ施設として定着している。陸上競技場において陸上競技教室を実施し、児童の競技能力向上に寄与している。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成26年度)

施設名	加古川市立しろやま農業研修センター
指定管理者	しろやま農業研修センター管理運営協議会
指定期間	平成24年4月1日から平成27年3月31日まで
施設所管課	地域振興部農林水産課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	21,884	20,880	選挙の投票所として2回使用があったため

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	6,319,803	5,846,422	－
（うち指定管理料）	6,300,000	5,825,000	電気料金値上げのため
（うち利用料金）	0	0	－
支出金額（円）	6,174,588	5,926,307	カーテン取替、光熱水費返還等のため

3 自己評価

自己評価コメント	運営管理については適切に実施できた。また、地域と施設の特性を生かした事業を実施し、施設や地場農産物のPRを行うことができた。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	利用者満足度調査に関するアンケート実施においては、良好な結果を得ている。特に「掃除が行き届いている」、「職員は親切で対応が良い」といった意見が多く、良好に運営されている。
利用状況に対する評価	志方町内に類似施設が多くある状況の中、志方町以外から利用者を取り込むなどし、利用件数は指定管理者に指定した平成21年度から微増傾向にあり評価できる。
自主（指定）事業に対する評価	地域の特性を生かし、「そば打ち」や「みそ作り」体験教室を開催した。参加申込者数は会場・設備等の関係で各事業10名未満ではあるが、地域外の住民に喜んでもらえるとともに、材料となる地産品も知ってもらえる機会にもなり評価できる。

施設維持に対する評価	日常の清掃は指定管理者が行い、ワックス掛けのみ業者委託している。利用者アンケート結果においても「清掃が行き届いている」とのコメントが複数あるほど、施設を大切に扱っている。 節電、節水等の取り組みについては、張り紙等による啓発により大部分の利用者に浸透しているように思われ、光熱水費については、予算額を下回る執行により市に返金する結果となり評価できる。
収支状況に対する評価	収支の状況については、全体において黒字決算となり、光熱水費については余剰金が発生し、市に返金する結果となり評価できる。 経費削減の取組については、特に電気・上水道関係では以前からの取組（利用にあたってのお願い等）が利用者に浸透し、協力が得られている。
総合評価	おおむね適切に運営・管理されている。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成26年度)

施設名	加古川市立農村環境改善センター
指定管理者	農村環境改善センター運営協議会
指定期間	平成24年4月1日から平成27年3月31日まで
施設所管課	地域振興部農林水産課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	31,755	31,792	—

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	5,737,070	5,791,891	—
（うち指定管理料）	5,583,000	5,644,000	—
（うち利用料金）	0	0	—
支出金額（円）	5,677,851	5,777,795	—

3 自己評価

自己評価コメント	指定管理料の中で運営、管理を適切に実施している。 また、地元の老人クラブ連合会や病院と連携して講演会を実施し、大変好評であった。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	地元町内会が主体となった指定管理者であり、地域に密着した運営を実施しており、利用者から特に苦情もなく適正に運営管理を行っている。
利用状況に対する評価	利用件数、利用人数は前年と、ほぼ同数ではあるが、多目的ホールの利用減少が懸念される。
自主（指定）事業に対する評価	地元と密着した事業を実施し好評を得ている。次年度以降の継続的な実施を期待する。
施設維持に対する評価	利用者アンケートで清掃に関する意見があったが、申請時に利用後の清掃周知を徹底するなど、早い対応ができています。 修繕については、部品を購入して職員が修繕することで、対応も早く、経費の削減にも貢献している。
収支状況に対する評価	経理状況については適正に処理されている。 光熱水費については市への返金は生じなかったが、会計全体の収支は黒字である。
総合評価	おおむね適正に運営・管理されている。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成26年度)

施設名	加古川市見土呂フルーツパーク
指定管理者	農事組合法人みとろ生産組合
指定期間	平成24年4月1日から平成26年3月31日まで
施設所管課	地域振興部農林水産課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	121,209	115,781	SNS（ブログ）を活用し、広く情報を発信した等。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	58,881,446	57,334,472	—
（うち指定管理料）	41,383,000	40,791,000	電気料金値上げのため
（うち利用料金）	0	0	—
支出金額（円）	58,134,815	55,321,837	—

3 自己評価

自己評価コメント	指定管理料とその他事業収入の中で、利用者の拡大を図るため、季節の花、農園の状況等の情報を常に発信してきた。今後もより自然と農業に触れる機会の多い公園として入園者増につなげていきたい。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	アンケートや意見箱の設置など、利用者の声をサービス向上につなげようとする姿勢を維持している。また、芝生等の手入れも行き届き、気持ちよく利用していただきたいという姿勢が随所に表れている。
利用状況に対する評価	SNS 等による情報を常に更新するなど、利用者数の増加に努めることができており、平成19年度以降で一番多い年度となった。
自主（指定）事業に対する評価	バーベキューブース利用者には、手ぶらでも利用できるよう食材の申込みに対応している。食材に加古川和牛を取り入れるなど地域ブランドのPRや地場産業の推進に貢献している。また、玉ねぎ収穫祭においても、加古川和牛の焼肉模擬店を出店している。

施設維持に対する評価	破損等に対しては早急に行動し、修繕できるまでの間の安全対策も適宜講じている。 広大な敷地ではあるが手入れがよく行き届いている。利用者にはゴミの持ち帰りを周知し、ゴミ箱は一切置かないなど徹底している。 平成 26 年度環境マネジメントシステム審査結果において、模範的事例として評価されるほど、節電に対する取組は徹底している。
収支状況に対する評価	電気料金の値上げ等に対応するため、他の費目の出費を抑制する一方で、温室に係る電気使用量を抑制する取組などにより黒字決算となっている。
総合評価	おおむね適正に管理運営を実施されている。利用状況については、引き続き入館者増に繋がるよう、施設管理も含め事業展開等により一層の努力を期待する。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成26年度)

施設名	加古川市総合福祉会館
指定管理者	社会福祉法人加古川市社会福祉協議会
指定期間	平成24年4月1日から平成27年3月31日まで
施設所管課	福祉部高齢者・地域福祉課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	67,508	72,345	加古川市老人大学院のクラス数の減少や在籍者の減少による
利用件数（件）	3,345	3,450	同上

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	71,291,629	71,143,609	—
（うち指定管理料）	70,961,629	70,899,609	—
（うち利用料金）	0	0	—
支出金額（円）	71,291,629	71,143,609	—

3 自己評価

自己評価コメント	市民の利用しやすい施設、求められる施設機能など、様々な機会を通じ、意見を取り入れながら、管理運営を実施するよう努めた。また、施設老朽化による修繕、利便性については、大規模改修を含め、市の所管課と協議を進めている。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	利用者への意見聴取等により、利便性の向上や施設の充実に取り組んでいる。
利用状況に対する評価	老人大学院のクラス数の減少や在籍者数の減少により、前年度に比べて利用者数が減少している。
自主（指定）事業に対する評価	各種講座の開催、ボランティア活動支援、相談会の開設等により、市民参加型の福祉活動を多数実施している。
施設維持に対する評価	業務の確認、報告書の提出等により適切な管理を行っている。 緑のカーテン(ゴーヤ)により省エネ対策に積極的に取り組んでいる。
収支状況に対する評価	照明や空調の適正な管理により経費削減に取り組んでいる。
総合評価	これまで培ってきた実績と経験を生かし、地域福祉の中核施設としてサービスの向上に取り組んでおり、指定管理による一定の効果をあげている。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成26年度)

施設名	加古川市立知的障害者総合支援センター
指定管理者	社会福祉法人加古川はぐるま福祉会
指定期間	平成24年4月1日から平成29年3月31日まで
施設所管課	福祉部障がい者支援課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
生活支援センター(人) (施設入所支援)	477	471	—
生活支援センター(人) (生活介護)	14,070	13,886	送迎バス運行開始のため
生活支援センター(人) (短期入所)	824	651	送迎バス運行開始のため
生活支援センター(人) (日中一時)	257	259	—
就労支援センター(人) (通所利用)	35	35	—
見学受入(人) (啓発活動)	482	538	—

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額(円)	250,298,855	238,056,354	—
(うち指定管理料)	35,313,000	35,313,000	—
(うち利用料金)	206,783,214	194,360,047	利用者増加のため
支出金額(円)	250,339,047	219,231,617	消費税増税、送迎バス開始、積立支出のため

3 自己評価

自己評価コメント	「公立施設」が有する公共性を保ちつつ、「民間運営」ならではの低コスト、質の高いサービス、柔軟かつ的確な対応を実践できたと考えている。
----------	--

4 施設所管課評価

運営(サービス)に対する評価	利用者保護者会を定期的を開催し、利用者保護者からのニーズの把握に努め、送迎バスの開始など、サービスの向上を図っている。
----------------	---

利用状況に対する評価	指定管理者の長年のノウハウにより、安定した利用状況を維持できている。
自主（指定）事業に対する評価	利用者のニーズを汲み取り、「休日の総合相談窓口の開設」事業を実施したことにより、トラブルの早期発見、早期対応につなげることができている。
施設維持に対する評価	施設の保守管理（点検、維持、清掃等）を適切に実施している。また、指定管理者負担となる修繕についても適切に実施している。
収支状況に対する評価	利用者増により収入は増加したものの、消費税増や送迎バス開始による経費増により赤字となったが、前年度までの黒字分により補てんできている。
総合評価	指定管理者の「社会福祉法人加古川はぐるま福祉会」は、長年の実績と経験、そして全国の支援事業者、関係機関・団体との幅広いネットワークを持ち合わせていることから、利用者への細やかな支援を提供できている。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成26年度)

施設名	加古川市立つつじ園
指定管理者	社会福祉法人博由社
指定期間	平成25年4月1日から平成30年3月31日まで
施設所管課	福祉部障がい者支援課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
年間利用者数（人）	10,844	9,564	新規契約者の5名増
1日平均（人）	44.26	39.4	ドアツードア送迎の導入

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	188,284,422	172,677,517	—
（うち指定管理料）	61,714,286	60,000,000	消費税増税のため
（うち利用料金）	124,275,140	111,001,309	利用率の向上
支出金額（円）	176,286,806	156,227,157	職員の増加

3 自己評価

自己評価コメント	家族会や行事を通じて利用者の保護者との関係性を構築することができ、新しい指定管理者による支援方針に対する理解を徐々に得ることができた。それによりプログラムの見直しやスヌーズレンの導入を進めることができ、行動障害の利用者に対して、これまでとは違うアプローチを展開することができた。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	定例的な家族会との懇談会や、アンケート方式による意見聴取により、利用者の保護者の満足度を把握する取組を行い、サービスの向上を図っている。
利用状況に対する評価	新たに車両を取得してドアツードア送迎を開始し、利用者のニーズにきめ細かく応えた結果、利用者数の増加につなげることができた。
自主（指定）事業に対する評価	自主事業について計画はしているものの、人員体制の課題が解決しておらず、実施には至っていない。
施設維持に対する評価	施設の保守管理（点検、維持、清掃等）を適切に実施している。また、指定管理者負担となる修繕についても適切に実施している。
収支状況に対する評価	利用者増や経営努力により、昨年度に引き続き黒字となっている。昨年度の黒字により、車両取得や施設整備を実施し、サービス向上のための環境整備を行っている。

総合評価	他の事業所で対応が困難な利用者を受け入れる公立施設としての役割を認識し、市内の重度な障がい者に対して生活介護事業を適切に実施している。その他の運営や収支状況も良好であるが、指定する自主事業を実施できていない状況は早急に改善する必要がある。
------	---

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成26年度)

施設名	加古川夜間急病センター
指定管理者	公益財団法人東播臨海救急医療協会
指定期間	平成24年4月1日から平成27年3月31日まで
施設所管課	福祉部健康課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
受診者数（人）	11,400	11,805	12、1月以外は流行病等がなかったため
後送者数（人）	439	487	緊急を要する患者が減ったため

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	113,526,091	106,819,924	インフルエンザ流行により 医薬材料費増加
（うち指定管理料）	113,526,091	106,819,924	—
（うち利用料金）	0	0	—
支出金額（円）	113,526,091	106,819,924	—

3 自己評価

自己評価コメント	加古川夜間急病センターにおいて、利用者サービスの質の低下を招くことなく管理運営業務を適正に実施した。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	施設の管理運営について、医師の高齢化等に伴う医師不足の中、医師の確保に努めることで、安定した診療体制を確保するなど、基本協定書、仕様書及び事業計画書に基づき、適正に実施できている。また、利用者から寄せられた意見や要望に対し、誠実な対応に努めている。
利用状況に対する評価	年中無休で診療を実施できている。
自主（指定）事業に対する評価	実施する事業なし
施設維持に対する評価	定期点検や軽微な修繕を行い、施設の維持に努めている。
収支状況に対する評価	年末年始におけるインフルエンザの流行により、医薬材料費が不足したものの、適正な在庫管理を行うことで、消耗品費や印刷製本費などの需用費や備品購入費の支出を抑え、経費縮減に努めている。
総合評価	夜間において救急の医療を必要とする者に対し、年中無休で安定した初期診療体制が確保できている。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成26年度)

施設名	加古川市立別府公民館
指定管理者	別府公民館管理運営委員会
指定期間	平成25年4月1日から平成28年3月31日まで
施設所管課	教育指導部社会教育・スポーツ振興課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	109,569	116,166	使用区分による内訳 青少年 △74人、成人 △4633人 高齢者 △1206人、その他 △684人
利用件数（件）	5,518	5,562	使用区分による内訳 青少年 △6件、成人 15件 高齢者 △29件、その他 △24件
稼働率（％） ※屋外除く	44.8	46.5	25年度 26年度 件数合計 5,157件 5,022件 可能数合計 11,088枠 11,196枠

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	22,829,810	22,818,985	—
（うち指定管理料）	22,269,000	21,650,000	—
（うち利用料金）	0	0	—
支出金額（円）	22,829,810	22,818,985	—

3 自己評価

自己評価コメント	別府地域におけるコミュニティづくりの拠点施設としての役割を十分に果たしていると考えている。 今後も利用者の声を参考にしながら、地域の意向や要望を今まで以上に取り入れた運営を行い、地域に開放された公民館運営に取り組んでいきたい。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	今後についても、良好で効率的な運営の実施を期待できる。 アンケート調査等により利用者のニーズに応じた管理運営が行われていることは高く評価できる。
利用状況に対する評価	すべての項目において、わずかながら昨年度を下回る結果となっている。地域住民のニーズを反映した事業展開や、そのPR方法など、創意工夫により地域交流拠点としての公民館運営を今後も推進していただきたい。

自主（指定）事業 に対する評価	新規事業を実施し、利用者のニーズに応じるだけでなく集客数の向上を図る取組については高く評価できる。
施設維持に対する 評価	修繕、清掃、及び植栽管理については、仕様書に基づき、業者に委託して適正に行われているため良好と評価する。 節電及び節水については、今後も継続してもらいたい。
収支状況に対する 評価	予算額と決算額との差異が大幅に生じたものもなく、適正に実施されている。 昨年度に引続き、裏紙の利用や節電の実施については、今後も継続してもらいたい。
総合評価	市の指定管理業務仕様書に規定したとおりの事業展開と施設維持管理がされており、地域における社会教育の拠点施設として良好な運営が行われている。今後についても、地域住民の多様なニーズに応え、さらに幅広い利用促進を図ることで、良好かつ効率的な管理運営業務を実施していただくことを期待している。